

(財)都市防犯研究センターの JUSRI レポート 別冊第 17 号「防犯環境設計ハンドブック[住宅編]」(平成 15 年 3 月、www.jusri.or.jp/PDF/betu_17web2.pdf)によれば、少し古いデータですが、平成 12 年～13 年の東京都内で発生した中高層共同住宅の侵入盗(空き巣ねらい)は、1階は玄関からの侵入が 58%(約半数がピッキング)、窓からの侵入が 42%、2 階以上は玄関が 91%で、侵入盗には玄関扉と窓の対策が必要です。そしてこれらの対策はお住まいの方自ら(賃貸で住まわれている方は区分所有者の了解が必要)が行う必要があります。

「金目のものはなにもないから」と対策されない方がいらっしゃいます。しかし、戸建で侵入盗の被害を受けた方から「盗難の被害もあるけれど『他人に住まいに入られた』という精神的ショックが大きい。心配で出歩けなくなってしまった」という話があるように、金品だけの被害ではありません。防犯対策がまだのお住まいがありましたら、本号を参考として対策してください。

玄関扉の錠について



図 1 玄関扉の鍵と鍵穴(建設時)

侵入犯は玄関扉の鍵とその周囲の構造を見て「短時間に侵入できる」と考えると、インターホンで留守を確認し、犯行におよびます。補助錠を付けることも有効ですが、まずは現在のドアの錠を「侵入に時間がかかる鍵」とすることが防犯の第一歩です。

当マンションの住居の玄関扉の錠ケースは MIWA 77HP40 です(図 1)。この錠部はディスクシリンダーといわれるもので、ピッキングの技術があれば数十秒で開錠され、錠に傷もつかないことから「いつ侵入されたのかわからない」という被害報告もあります。そして日本中にこの錠が普及していたことから、ピッキングによる侵入被害が多数発生しました。現在、ピッキング

の被害比率はピッキングでの解錠の困難な錠への移行により減少していますが、被害は続いています。この錠をお使いでしたら防犯性の高いシリンダーへ交換してください。

なお、自治会の階段集会などで「鍵の業者の紹介を」という声もありますが、万一ということ、また、業界の特性から店舗を持たない業者もあることから、「近隣で評判のよい鍵屋を選んでください」として特定の業者の紹介は管理組合はひかえています。

「シリンダーの交換は専門家でないとできないのでは」とお考えの方も多いと思いますが、プラスドライバーを使える人ならば取扱説明書を読みながらでも 5～10 分ほどで交換できる簡単な作業です。種類は限られますが、大手のホームセンターで取替シリンダー(MIWA 77HP40, HP40, HPD-40 用などと表記のもの。三郷のスーパービバホーム調べで 4,000～20,000 円)が販売されています。素性のわからない業者へ交換依頼するより安心で、費用も安くできます。

次に交換用シリンダーの選定について、全国防犯シリンダー普及会の「鍵のカatalog」(www.kagistar.com/catalog/に 2003 年版が掲載)などを参考に解説します。

【CP-C 認定】

(財)全国防犯協会連合の交換用シリンダー単体の耐ピッキング性能を審査し型式認定を通ったものですが、2004年4月に制度運用は廃止されました。認定されていないGOALのV18が日本初の米国UL防犯規格(UL437)に通るなどありますので目安です。

【鍵違い数】

錠の構造からできるキーの組合せ数で、鍵違い数と鍵としての防犯性能は等しくないため、参考程度としてください。

【複製が困難なこと】

持ち主の知らない間に鍵が持ち出されて複製がつくられ、被害にあうケースがあります。この面から複製の困難な鍵を選ぶのがよいといえます。一般にディンプルキー（鍵の側面にクレタのような穴のあいたもの）に複製困難なものが多いようです。ピンとマグネットを使ったECシリンダーは複製が容易とのことです。

【リバーシブル】

方向を気にしないで鍵を差込めるのは急ぎの時に精神衛生上よいです。また、鍵の差込やすさはユニバーサルデザインの面でも考慮すべきことです。

【不正解錠対策】

新しく設計された錠であればピッキングには強いものになっています。しかし、専用解錠工具が販売されている錠もあり、この悪用の可能性も否定できません。専用解錠工具販売されていない錠がより安心です。

物理的に錠を壊して解錠してしまうものとして電動ピック、ピックガン、ドリリングなどの方法があります。新しい設計の錠は壊すのに時間がかかるようになっていますが、その耐久性はまちまちです。

特殊な道具を使って錠シリンダーを迂回して解錠するカム送りという手口がありますが、当マンションの錠ケースはその手口が容易又は可能な対象にはなっていません。

ピッキング対策としてMIWAのU9に交換された方が多いと思います。しかし、ドライバーで破壊される被害がでたことから平成12年末に改良型（図2）がでました。筆者宅も改良前のU9で、今日の犯罪状況から「錠は一生ものではなく消耗品」と考えて前述のチェックポイントとホームセンターでの販売価格から他社のリバーシブルの取替シリンダーを選んで交換しました。

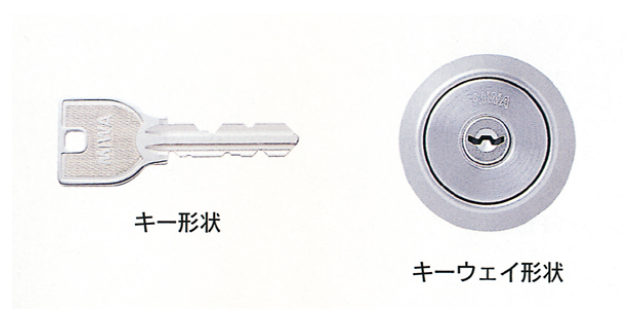


図2 MIWA U9（改良型）

窓のクレセントについて

窓のクレセントは窓を開かないように固定する金具で鍵ではありません。このため、クレセント周囲のガラスを手の入る大きさに割ってクレセントを開放して侵入する犯罪が絶えません。マイナスドライバーを使った「こじ破り」、ライターで窓ガラスを熱して水をかけて割る「焼き破り」、ハンマーなどでガラス全体を割る「打ち破り」があります。侵入犯の多くが音を気にし、侵入に長時間かかるようだと諦めることから、クレセントを開放されても簡単に窓が開かないように補助錠を併用したり、クレセント自体を鍵付に交換したり、ガラス自体が割られにくいようにクレセント周囲に防犯フィルムを張るなどの対策をお奨めします。

皆さんの玄関扉の鍵などを見て「このマンションは防犯意識が高い」と侵入犯が犯行を諦めるようになることを願います。

【参考】

<http://www.kagistar.com/>